

# 遺伝毒性試験システム



- コロニーカウンターからの自動取込み
- 背景値データの出力
- 豊富な報告書の装備
- 運用に則したマスター設定

## 遺伝毒性試験システム

「遺伝毒性試験システム」とは、遺伝毒性試験に関する計画～実施～記録～報告までを一括管理するシステムです。規制要件（GLP、FDA 21 CFR Part 11、ER/ES）に準拠したデータ管理・運用が可能です。

## 遺伝毒性試験システムのポイント

### ■コロニーカウンターからの自動取込み

各種コロニーカウンターよりコロニー数を自動取込みする事ができます。1プレートに対して複数回の測定結果を取込む事もできます。

### ■背景値データの出力

抽出条件として対象試験や菌株等のロット番号を指定する事で使用用途に合わせた背景値結果を出力できます。

### ■豊富な報告書の装備

5種類の報告書を標準で備えています。安衛法化審法のフォーマットに準拠した試験結果表も出力できます。

### ■運用に則したマスター設定

菌株、溶媒対照、陽性対照、生育阻害のグレード等、お客様の実運用に則したマスターの設定が行えます。運用後も必要に応じて変更する事ができます。

## システムイメージ



